

平成 20 年度

二級実験動物技術者認定試験

各 論 (問 題)
(サル類)

試験時間 : 13 時 00 分 ~ 15 時 00 分

解答は答案用紙の該当欄の○を鉛筆で黒く塗りつぶしてください。
○をはみ出したり塗りつぶし方が不十分にならないよう注意してください。

平成 20 年 8 月 17 日

(社)日本実験動物協会

各論：サル類（問題）

それぞれの設問について、該当するものを選び、解答用紙の該当欄の○を鉛筆で黒く塗りつぶしてください。

[問題]

1. わが国に実験用として輸入されてくるカニクイザルの主な繁殖地はどこか。
 - 1) 南米
 - 2) 北米
 - 3) 北欧
 - 4) 東南アジア

2. サル類を実験に使用する際の注意点は何か。
 - 1) 野生捕獲ザルはどこかの生息地からでも輸入が可能である。
 - 2) 高い知能を有することから、それに対応する管理が要求される。
 - 3) 検疫は人獣共通感染症の検査のみ行う。
 - 4) サルは順応性が高いので順化期間は短めにする。

3. サル類は脳が発達しているが、大脳中枢は何をつかさどっているか。
 - 1) 生命維持機能
 - 2) 平衡感覚
 - 3) 内分泌機能
 - 4) 意識的運動

4. サルの眼に関し、正しい記述はどれか。
 - 1) 立体視が可能である。
 - 2) 物体の大きさの判断はできない
 - 3) 物体の形は判断ができない。
 - 4) 色の識別はできない。

5. サル類において歯牙の萌出状態から推定できるのは下記のどれか。
 - 1) 生息域
 - 2) 食性
 - 3) 年齢
 - 4) 健康状態

6. アカゲザルの寿命はどのくらいか。

- 1) 5年
- 2) 10～12年
- 3) 15～25年
- 4) 30～35年

7. チンパンジーの寿命はどのくらいか。

- 1) 約10年
- 2) 約20年
- 3) 約30年
- 4) 約40年

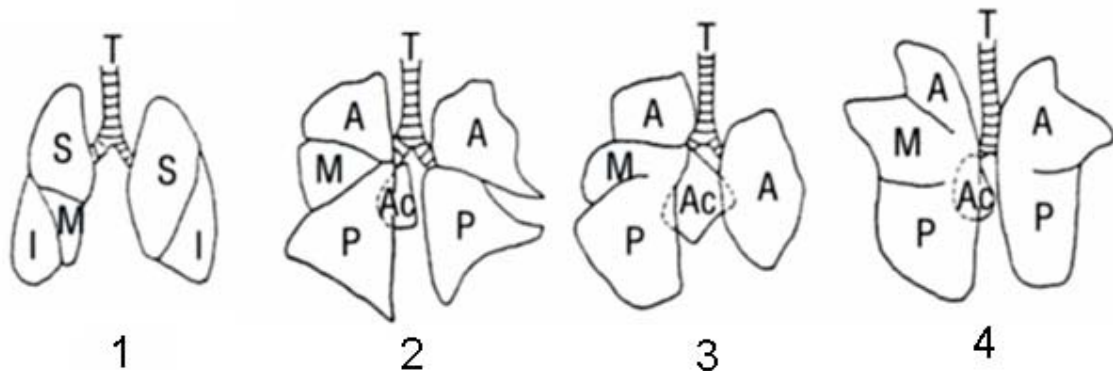
8. マカク属サル類の脊椎数について正しいのはどれか。

- 1) 頸椎は8個である。
- 2) 腰椎は7個である。
- 3) 仙椎は5個である。
- 4) 尾椎は10数個である。

9. マカク属サル類の永久歯について正しいのはどれか。

- 1) 上下とも切歯4、犬歯2、前臼歯4、後臼歯6、計32本である。
- 2) 上下とも切歯4、犬歯2、前臼歯2、後臼歯4、計24本である。
- 3) 上下とも切歯2、犬歯4、前臼歯6、後臼歯4、計32本である。
- 4) 上下とも切歯2、犬歯2、前臼歯4、後臼歯6、計28本である。

10. 下図のうち、マカク属サル類の肺はどれか。



- 1) 1
- 2) 2
- 3) 3
- 4) 4

1 1. マカク属サル類の結腸に関する記述として正しいのはどれか。

- 1) 上行、横行、下行結腸に分けられる。
- 2) 上行、下行結腸に分けられる。
- 3) 前行、中行、後行結腸に分けられる。
- 4) 前行、後行結腸に分けられる。

1 2. マカク属の盲腸はどの部分をいうか。

- 1) 回腸の開口部である回盲弁から先の袋状の部分
- 2) 十二指腸の開口部である回盲弁から先の袋状の部分
- 3) 空腸の開口部である空盲弁から先の袋状の部分
- 4) 結腸の開口部である結盲弁から先の袋状の部分

1 3. サル類の虫垂はどこにあるか。

- 1) 盲腸
- 2) 回腸
- 3) 空腸
- 4) 一般には存在しない

1 4. マカク属サル類の安静時呼吸数はどれくらいか。

- 1) 8～12 回/分程度
- 2) 20～24 回/分程度
- 3) 30～40 回/分程度
- 4) 50～57 回/分程度

1 5. マカク属の肋骨は何対か。

- 1) 5 対
- 2) 10 対
- 3) 12 対
- 4) 16 対

1 6. 広鼻猿について、正しい記述はどれか。

- 1) 原猿類のひとつである。
- 2) 北アメリカ大陸に棲んでいる。
- 3) 新世界ザルと呼ばれている。
- 4) ニシメガネザルは広鼻猿に分類される。

17. 狭鼻猿について、正しい記述はどれか。
- 1) 中央アメリカ、南アメリカに棲んでいる。
 - 2) 真猿類のひとつである。
 - 3) エリマキキツネザルは狭鼻猿に分類される。
 - 4) アイアイは狭鼻猿に分類される。
18. コモンリスザルは下記のどれに分類されるか。
- 1) 原猿類 キツネザル科
 - 2) 原猿類 広鼻猿 マーモセット科
 - 3) 真猿類 広鼻猿 オマキザル科
 - 4) 真猿類 狭鼻猿 オナガザル科
19. 改正感染症法により獣医師の届出が必要となった感染症はどれか。
- 1) 伝染性気管支炎
 - 2) 皮膚糸状菌症
 - 3) エボラ出血熱
 - 4) 溶血レンサ球菌病
20. いわゆる特定外来生物法で飼養等の許可が必要な動物はどれか。
- 1) エリマキキツネザル
 - 2) コモンマーモセット
 - 3) カニクイザル
 - 4) チンパンジー
21. 下記のうち、原猿類に属するサルはどれか。
- 1) アカゲザル
 - 2) コモンマーモセット
 - 3) コモンリスザル
 - 4) インドリ
22. 下記のうち、真猿類に属するサルはどれか。
- 1) エリマキキツネザル
 - 2) スローロリス
 - 3) ニシメガネザル
 - 4) コモンリスザル

23. アカゲザルに関する記述として、正しいのはどれか。
- 1) 攻撃性は弱い。
 - 2) 体毛は全体的に赤褐色をしている。
 - 3) 実験に使用されるようになったのはごく最近である。
 - 4) 脳神経生理、精神薬理、行動、免疫、感染などの研究分野で使用されている。
24. カニクイザルに関する記述として正しいのはどれか。
- 1) 昆虫類を好んで食べる。
 - 2) アカゲザルよりひと回り小さい。
 - 3) 10～20cmの短い尾をもつ。
 - 4) 体毛は黒色をしている。
25. コモンリスザルに関する記述として正しいのはどれか。
- 1) 旧世界ザルの一種である。
 - 2) 頭と口の周りが白く、目が丸い。
 - 3) 体長よりも長い尾を有している。
 - 4) 体毛は灰白色をしている。
26. マーモセット科のサル類に関する記述として正しいのはどれか。
- 1) マウスくらいの大きさである。
 - 2) 動きは非常にゆっくりしている。
 - 3) 短い有毛の尾を持っている。
 - 4) ウイルス感染や薬理学、腫瘍研究などに使用されている。
27. ポリオ、麻疹、風疹などのワクチンの神経毒力試験に使用されるサルはどれか。
- 1) ニホンザル
 - 2) カニクイザル
 - 3) アイアイ
 - 4) マーモセット
28. ヒトA型肝炎の研究分野で利用されるサルはどれか。
- 1) コモンマーモセット
 - 2) コモンリスザル
 - 3) ニホンザル
 - 4) スローロリス

29. サル類の結核検査に用いられる方法はどれか。
- 1) 喀痰検査
 - 2) 検便
 - 3) ツベルクリン反応検査
 - 4) BCG
30. ツベルクリン反応検査について、正しい記述はどれか。
- 1) 注射部位は頸部皮下である。
 - 2) 検疫期間中、2週間以上の間隔をあげ、2回検査をする。
 - 3) 長期飼育の場合、2年に1回程度検査をする。
 - 4) 接種後、24、48、72時間後に発赤、腫脹の有無を確認する。
31. 下記のうち、サル類の検疫検査中の糞便検査において特に重要な細菌はどれか。
- 1) 赤痢菌
 - 2) 緑膿菌
 - 3) 黄色ブドウ球菌
 - 4) 腸粘膜肥厚症菌
32. 正常なマカク属サル類の糞便量はどのくらいか。
- 1) 10～30g/日
 - 2) 50～100g/日
 - 3) 150～200g/日
 - 4) 250～280g/日
33. 正常なサルの状態はどれか。
- 1) 口唇はしまっており、淡褐色でやや湿った感じがする。
 - 2) 皮膚は乾いている。
 - 3) 目は乾いた感じがある。
 - 4) 糞便が白色、褐色あるいは赤褐色である。
34. サル類にビタミンCを与える場合の1日あたりの補給量はどのくらいか。
- 1) 1mg/kg
 - 2) 3mg/kg
 - 3) 10mg/kg
 - 4) 30mg/kg

35. アカゲザルに対する市販固型飼料の1日あたりの給餌量はどれくらいか。
- 1) 40～80g
 - 2) 100～150g
 - 3) 180～200g
 - 4) 210～260g
36. マーモセットがビタミンD欠乏症になるとどのような病気を発症するか。
- 1) クロストリジウム病
 - 2) 気管支敗血症菌病
 - 3) パスツレラ病
 - 4) クル病
37. カニクイザルの1日あたりの摂水量はどれくらいか。
- 1) 10～50ml
 - 2) 100～150ml
 - 3) 200～600ml
 - 4) 700～800ml
38. サルの取扱いに関して正しい記述はどれか。
- 1) 通常、検疫中のサルを扱う場合は必ず麻酔下で行う。
 - 2) 検疫中は狭体つきのケージが使えないので、直接ケージの中に手を入れて注射する。
 - 3) 保定のための麻酔は塩酸ケタミンの静脈注射により行う。
 - 4) 注射後は、麻酔の効果が発現していなくても、ケージから取り出してよい。
39. サルを無麻酔下で取り扱う際の注意点として正しい記述はどれか。
- 1) 専用の皮手袋を使用する。
 - 2) ゴム手袋を使用する。
 - 3) 必ず素手で扱う。
 - 4) ディスポの手袋であれば何でもよい。
40. 個体識別のための入墨を行う一般的な部位はどこか。
- 1) 耳介または頭頂部
 - 2) 肩または腕
 - 3) 胸部または大腿部内側皮膚
 - 4) 頸部

- 4 1. マーモセット類の成熟年齢はどれか。
- 1) メスは1歳、オスは1.5歳
 - 2) メスは2歳、オスは2歳
 - 3) メスは3.5歳、オスは4歳
 - 4) メスは7歳、オスは8歳
- 4 2. マカク属サル類の月経周期の長さは何日くらいか。
- 1) 約10日
 - 2) 約19日
 - 3) 約28日
 - 4) 約35日
- 4 3. サル類の繁殖季節に関する説明として正しい記述はどれか。
- 1) アカゲザルは冬季の数か月が非繁殖期となる。
 - 2) リスザルは繁殖季節があり、2～3月に出産期となる。
 - 3) ニホンザルは年中繁殖動物である。
 - 4) ブタオザルは季節繁殖動物である。
- 4 4. マカク属サル類の妊娠確認をする際、体表からウズラ卵大の膨れた子宮を触診できるのは交配後何日頃か。
- 1) 9日頃
 - 2) 15日頃
 - 3) 28日頃
 - 4) 36日頃
- 4 5. ニホンザルの平均妊娠期間はどれか。
- 1) 114日
 - 2) 145日
 - 3) 164日
 - 4) 175日
- 4 6. サル類の分娩に関する記述として、正しいのはどれか。
- 1) 分娩は、普通昼間におこる。
 - 2) 分娩が近づくとじっとして動かなくなる。
 - 3) 分娩が近づくと外陰部から白色透明な粘液の流出が観察される。
 - 4) 陣痛がおきて、数時間以内に胎子の娩出がある。

47. カニクイザルの出生子の体重はどれくらいか。
- 1) 30～45g
 - 2) 65～120g
 - 3) 100～200g
 - 4) 300～350g
48. サル類の子の発育に関する記述として正しいのはどれか。
- 1) 新生子は無毛である。
 - 2) 生後3日目から母親にしがみついて乳を吸うようになる。
 - 3) 生後約2.5か月で出生時体重のほぼ3倍となる。
 - 4) 約12か月齢で出生時体重のおよそ5倍となる。
49. リスザルの産子数はどのくらいか。
- 1) 1子
 - 2) 2子
 - 3) 3子
 - 4) 4子
50. マカク属サル類の体重測定に使用する体重計について正しい記述はどれか。
- 1) 秤量1～3kg、小型サル類では1～2kgの秤を使用する。
 - 2) 秤量5～8kg、小型サル類では0.1～0.2kgの秤を使用する。
 - 3) 秤量10～30kg、小型サル類では1～2kgの秤を使用する。
 - 4) 秤量50～80kg、小型サル類では10～20kgの秤を使用する。